

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。

下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

◆進級要件◆

学科	区分	履 修 要 件		
		修得単位数	専門科目	教養科目
農業生産学科	2 年次への 進級	30 単位以上	1 年次相当の実験・実習系(必修科目)4 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 5 単位を修得	—
	3 年次への 進級	70 単位以上	2 年次までに相当の実験・実習系(必修科目)12 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 13 単位以上を修得	—
	4 年次への 進級	100 単位以上	3 年次までに相当の実験・実習系(必修科目)14 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 15 単位以上を修得	26 単位以上(必修科目 2 単位、選択科目の語学系 6 単位以上を含む)を修得
応用生物科学科	2 年次への 進級	30 単位以上	1 年次相当の実験・実習系(必修科目) 4 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 5 単位を修得	—
	3 年次への 進級	70 単位以上	2 年次までに相当の実験・実習系(必修科目)8 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 9 単位以上を修得	—
	4 年次への 進級	100 単位以上	3 年次までに相当の実験・実習系(必修科目)12 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 13 単位以上を修得	26 単位以上(必修科目 2 単位、選択科目の語学系 6 単位以上を含む)を修得
食品栄養学科	2 年次への 進級	30 単位以上	1 年次相当の専門コア群 25 単位以上(必修の実験・実習科目 6 単位を含む)、基礎ゼミナール 1 単位の計 26 単位以上を修得	—
	3 年次への 進級	70 単位以上	2 年次までに相当の専門コア群 50 単位以上(必修の実験実習科目 10 単位を含む)、基礎ゼミナール 1 単位の計 51 単位以上を修得	—
	4 年次への 進級	100 単位以上	3 年次までに相当の専門コア群 70 単位以上(必修の実験・実習科目 14 単位を含む)、基礎ゼミナール 1 単位の計 71 単位以上を修得	26 単位以上(必修科目 2 単位、選択科目の語学系 6 単位以上を含む)を修得
食農ビジネス学科	2 年次への 進級	30 単位以上	基礎ゼミナール、食農ビジネス学基礎演習Ⅰの計 3 単位を修得	—
	3 年次への 進級	70 単位以上	基礎ゼミナール、食農ビジネス学基礎演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの計 7 単位を修得	—
	4 年次への 進級	100 単位以上	基礎ゼミナール、食農ビジネス学基礎演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、食農ビジネス学研究Ⅰ・Ⅱの計 11 単位を修得	26 単位以上(必修科目 4 単位、選択科目の語学系 6 単位以上を含む)を修得

◆卒業要件◆

(1) 卒業に必要なG P A値

入学時からの累積G P Aが1. 3 以上であること。

(2) 卒業に必要な単位数

区分	学科	必修科目	選択科目	計
専門科目	農業生産 学科	47 単位	51 単位以上 ①農業植物・栽培系および農業生物・環境系から 24 単位以上 ②専門総合群 10 単位以上(各系から 2 単位以上を含む)を含む	98 単位 以上
	応用生物科 学科	53 単位	45 単位以上 ①植物系、微生物系および動物・海洋生物系から 16 単位以上 ②専門総合群 10 単位以上(各系から 2 単位以上を含む) を含む	
	食品栄養 学科	67 単位	31 単位以上 ①専門コア群 14 単位以上 ②専門総合群 10 単位以上(各系から 2 単位以上を含む) を含む	
	食農ビジネス 学科	42 単位	56 単位以上 ①専門コア群 26 単位以上(選択必修科目 A から 2 単位、選択必修科目 B から 10 単位以上を含む) ②専門総合群 10 単位以上(各系から 2 単位以上を含む) を含む	
教養科目	3 学科 (AC・AB・AF) 共通	2 単位	24 単位以上 (語学系 6 単位以上を含む)	26 単位 以上
	食農ビジネス 学科	4 単位	22 単位以上 (語学系 6 単位以上を含む)	
計		124 単位以上		

■注 教職課程における、次の区分にある科目は、進級・卒業に必要な単位数に算入することはできません。

- ・教科及び教科の指導法に関する科目のうち「職業指導Ⅰ～Ⅱ」「理科教育法Ⅰ～Ⅳ」「農業科教育法Ⅰ～Ⅱ」
- ・栄養に係る教育に関する科目
- ・教育の基礎的理解に関する科目
- ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
- ・教育実践に関する科目
- ・大学が独自に設定する科目のうち「地域連携教育活動Ⅰ～Ⅱ」「道徳教育論」

◆GPA制度について◆

本学部では、GPA制度を導入しています。

GPAとは、「成績の評語」に対応する数値として、「GP (Grade Point)」を付与し、履修した授業科目のGPに単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。これは各科目の成績平均値「GPA (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけではなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてもらおうというものです。

GPAは、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件にGPA 1.3以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、GPAを下げるようになりますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講することが重要です。

成績の評語とGPの対応表およびGPA計算式は次のとおりです。

成績の評語 【2024年度入学生】	A	B	C	D	E	F	*
成績の評語 【2025年度入学生】	S	A	B	C	D	E	*
GP (グレードポイント)	4	3	2	1	0		

$$GPA = \frac{\text{履修した授業科目のGPに単位数を乗じた値の総和}[(GP \times \text{単位数}) + \dots + (GP \times \text{単位数})]}{\text{履修した授業科目の単位数の総和}}$$

◆管理栄養士養成課程について◆ ※食品栄養学科のみ対象

管理栄養士国家試験を受験するためには、以下に定める開講科目の単位を修得する必要があります。

管理栄養士学校指定規則に定める 教育内容及び単位数				本学開設の授業科目及び単位数		
教育内容		講義又 は演習	実験又 は実習	授業科目	講義又 は演習	実験又 は実習
専 門 基 礎 分 野	社会・環境と健康	6	10	公衆衛生学	2	
				健康管理概論	2	
				医療福祉論	2	
	人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち	14		解剖生理学	2	
				臨床医学概論	2	
				生化学	2	
				微生物学	2	
				分子生物学	2	
				臨床病態学	2	
				運動生理学	2	
				解剖生理学実習		1
				生化学実験		1
				微生物学実験		1

専門基礎分野	食べ物と健康	8	前頁の 10 単位 に含む	食品学総論	2		
				食品学各論	2		
				食品衛生学	2		
				食品加工学	2		
				調理学	2		
				食品学実験Ⅰ		1	
				食品学実験Ⅱ		1	
				基礎科学実験		1	
				食品衛生学実験		1	
				食品加工学実習		1	
				調理学実習Ⅰ		1	
				調理学実習Ⅱ		1	
				専門分野	基礎栄養学	2	8
応用栄養学	6	基礎栄養学実習			1		
		応用栄養学Ⅰ	2				
		応用栄養学Ⅱ	2				
		応用栄養学Ⅲ	2				
		応用栄養学実習			1		
栄養教育論	6	栄養教育論Ⅰ	2				
		栄養教育論Ⅱ	2				
		栄養教育論Ⅲ	2				
		栄養教育論実習			1		
臨床栄養学	8	臨床栄養学Ⅰ	2				
		臨床栄養学Ⅱ	2				
		臨床栄養学Ⅲ	2				
		臨床栄養学Ⅳ	2				
		栄養薬理学	2				
		臨床栄養学実習Ⅰ			1		
		臨床栄養学実習Ⅱ			1		
		臨床栄養学実習Ⅲ			1		
公衆栄養学	4	公衆栄養学Ⅰ	2				
		公衆栄養学Ⅱ	2				
		公衆栄養学実習			1		
給食経営管理論	4	給食経営管理論Ⅰ	2				
		給食経営管理論Ⅱ	2				
		給食経営管理実習			1		
総合演習	2	臨地実習指導（演習）	1				
臨地実習		4	管理栄養士総合演習		1		
			給食運営実習（校外）			1（※1）	
			臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）		1（※2）		
			臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）		1（※2）		
			臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）		2（※2）		
臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）		3（※2）					
小計		60	22	小計	64	22	
合計		82		合計	86		

（※1）「給食運営実習（校外）」は必修科目とする。「給食の運営」にかかる校外実習（1 単位）を含む。

（※2）4 科目のうち 3 単位を必修とする。

◆進級・卒業要件◆

本学部では進級および卒業するための要件を設けています。

下位年次から計画的に単位を修得しておくことが重要です。

◆進級要件◆

学科	区分	履 修 要 件		
		修得単位数	専門科目	教養科目
農業生産学科	2 年次への 進級	30 単位以上	1 年次配当の実験・実習系(必修科目)4 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 5 単位を修得	—
	3 年次への 進級	70 単位以上	2 年次までに配当の基礎系 6 単位以上、実験・実習系(必修科目)12 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 19 単位以上を修得	必修科目 6 単位を修得
	4 年次への 進級	100 単位以上	3 年次までに配当の基礎系 6 単位以上、実験・実習系(必修科目)14 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 21 単位以上を修得	26 単位以上(必修科目 6 単位、選択科目の語学系 6 単位以上、人文系 2 単位以上、社会系 2 単位以上、自然系 2 単位以上を含む)を修得
応用生物科学科	2 年次への 進級	30 単位以上	1 年次配当の実験・実習系(必修科目)4 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 5 単位を修得	—
	3 年次への 進級	70 単位以上	2 年次までに配当の基礎系 6 単位以上、実験・実習系(必修科目)8 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 15 単位以上を修得	必修科目 6 単位を修得
	4 年次への 進級	100 単位以上	3 年次までに配当の基礎系 6 単位以上、実験・実習系(必修科目)12 単位、基礎ゼミナール 1 単位の計 19 単位以上を修得	26 単位以上(必修科目 6 単位、選択科目の語学系 6 単位以上、人文系 2 単位以上、社会系 2 単位以上、自然系 2 単位以上を含む)を修得
食品栄養学科	2 年次への 進級	30 単位以上	1 年次配当の専門コア群 25 単位以上(必修の実験・実習科目 7 単位を含む)、基礎ゼミナール 1 単位の計 26 単位以上を修得	—
	3 年次への 進級	70 単位以上	2 年次までに配当の専門コア群 50 単位以上(必修の実験・実習科目 10 単位を含む)、基礎ゼミナール 1 単位の計 51 単位以上を修得	必修科目 6 単位を修得
	4 年次への 進級	100 単位以上	3 年次までに配当の専門コア群 70 単位以上(必修の実験・実習科目 14 単位を含む)、基礎ゼミナール 1 単位の計 71 単位以上を修得	26 単位以上(必修科目 6 単位、選択科目の語学系 6 単位以上、人文系 2 単位以上、社会系 2 単位以上、自然系 2 単位以上を含む)を修得
食農ビジネス学科	2 年次への 進級	30 単位以上	基礎ゼミナール、食農ビジネス学基礎演習Ⅰの計 3 単位を修得	—
	3 年次への 進級	70 単位以上	基礎ゼミナール、食農ビジネス学基礎演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲの計 7 単位を修得	必修科目 6 単位を修得
	4 年次への 進級	100 単位以上	基礎ゼミナール、食農ビジネス学基礎演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、食農ビジネス学研究Ⅰ・Ⅱの計 11 単位を修得	26 単位以上(必修科目 6 単位、選択科目の語学系 6 単位以上、人文系 2 単位以上、社会系 2 単位以上、自然系 2 単位以上を含む)を修得

◆卒業要件◆

(1) 卒業に必要なG P A値

入学時からの累積G P Aが1. 3以上であること。

(2) 卒業に必要な単位数

区分	学科	必修科目	選択科目	計
専門科目	農業生産学科	37 単位	61 単位以上 ①専門コア群 30 単位以上（基礎系 6 単位以上、農業植物・栽培系および農業生物・環境系から 24 単位以上を含む） ②専門総合群 20 単位以上（各系から 4 単位以上を含む）を含む	98 単位以上
	応用生物科学科	45 単位	53 単位以上 ①専門コア群 22 単位以上（基礎系 6 単位以上、植物系、微生物系および動物・海洋生物系から 16 単位以上を含む） ②専門総合群 20 単位以上（各系から 4 単位以上を含む）を含む	
	食品栄養学科	64 単位	34 単位以上 ①専門コア群 16 単位以上 ②専門総合群 12 単位以上（各系から 4 単位以上を含む）を含む	
	食農ビジネス学科	42 単位	56 単位以上 ①専門コア群 26 単位以上（選必 A から 2 単位、選必 B から 10 単位以上を含む） ②専門総合群 20 単位以上（各系から 4 単位以上を含む）を含む	
教養科目	4 学科共通	6 単位	20 単位以上 ①語学系 6 単位以上 ②人文系、社会系、自然系の各系から 2 単位以上を含む	26 単位以上
計		124 単位以上		

■注 教職課程における、次の区分にある科目は、進級・卒業に必要な単位数に算入することはできません。

- ・教科及び教科の指導法に関する科目のうち「職業指導Ⅰ～Ⅱ」「理科教育法Ⅰ～Ⅳ」「農業科教育法Ⅰ～Ⅱ」
- ・栄養に係る教育に関する科目
- ・教育の基礎的理解に関する科目
- ・道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目
- ・教育実践に関する科目
- ・大学が独自に設定する科目のうち「地域連携教育活動Ⅰ～Ⅱ」「道徳教育論」

◆GPA制度について◆

本学部では、GPA制度を導入しています。

GPAとは、「成績の評語」に対応する数値として、「GP (Grade Point)」を付与し、履修した授業科目のGPに単位数を乗じた値の総和に対して、同授業科目の単位あたりの平均を算出した値のことです。これは各科目の成績平均値「GPA (Grade Point Average)」を用いて、単位数という学修の量だけではなく、成績評価に基づく質を重んじた学修をしてもらおうというものです。

GPAは、各学生の指導担当教員が履修指導を行う際の指標として活用するほか、卒業要件にGPA 1.3以上であることが含まれています。履修申請した科目のうち不合格科目が多くある場合、GPAを下げるようになりますので、計画的に履修登録し、履修放棄などは避けて、履修登録した科目は最後まで受講することが重要です。

成績の評語とGPの対応表およびGPA計算式は次のとおりです。

成績の評語	A	B	C	D	E	F	*
GP (グレードポイント)	4	3	2	1	0		

$$GPA = \frac{\text{履修した授業科目のGPに単位数を乗じた値の総和}[(GP \times \text{単位数}) + \dots + (GP \times \text{単位数})]}{\text{履修した授業科目の単位数の総和}}$$

◆管理栄養士養成課程について◆ ※食品栄養学科のみ対象

管理栄養士国家試験を受験するためには、以下に定める開講科目の単位を修得する必要があります。

管理栄養士学校指定規則に定める 教育内容及び単位数				本学開設の授業科目及び単位数		
教育内容		講義又 は演習	実験又 は実習	授業科目	講義又 は演習	実験又 は実習
専 門 基 礎 分 野	社会・環境と健康	6	10	公衆衛生学	2	
	人体の構造と機能及び 疾病の成り立ち	14		健康管理概論	2	
				医療福祉論	2	
				解剖生理学	2	
				臨床医学概論	2	
				生化学	2	
				微生物学	2	
				分子生物学	2	
				臨床病態学	2	
				運動生理学	2	
				解剖生理学実習		1
				生化学実験		1
				微生物学実験		1

専門基礎分野	食べ物と健康	8	前頁の 10 単位 に含む	食品学総論	2	
				食品学各論	2	
				食品衛生学	2	
				食品加工学	2	
				調理学	2	
				食品学実験Ⅰ		1
				食品学実験Ⅱ		1
				食品衛生学実験		1
				食品加工学実習		1
				調理学実習Ⅰ		1
				調理学実習Ⅱ		1
				調理学実習Ⅲ		1
				専門分野	基礎栄養学	2
応用栄養学	6	基礎栄養学実習			1	
		応用栄養学Ⅰ	2			
		応用栄養学Ⅱ	2			
		応用栄養学Ⅲ	2			
		応用栄養学実習			1	
栄養教育論	6	栄養教育論Ⅰ	2			
		栄養教育論Ⅱ	2			
		栄養教育論Ⅲ	2			
		栄養教育論実習			1	
臨床栄養学	8	臨床栄養学Ⅰ	2			
		臨床栄養学Ⅱ	2			
		臨床栄養学Ⅲ	2			
		臨床栄養学Ⅳ	2			
		栄養薬理学	2			
		臨床栄養学実習Ⅰ			1	
		臨床栄養学実習Ⅱ			1	
		臨床栄養学実習Ⅲ			1	
公衆栄養学	4	公衆栄養学Ⅰ	2			
		公衆栄養学Ⅱ	2			
		公衆栄養学実習			1	
給食経営管理論	4	給食経営管理論Ⅰ	2			
		給食経営管理論Ⅱ	2			
		給食経営管理実習			1	
総合演習	2	臨地実習指導（演習）	1			
臨地実習		4	管理栄養士総合演習		1	
			給食運営実習（校外）		1（※1）	
			臨地実習Ⅰ（給食経営管理論）		1（※2）	
			臨地実習Ⅱ（公衆栄養学）		1（※2）	
			臨地実習Ⅲ（臨床栄養学）		2（※2）	
臨地実習Ⅳ（臨床栄養学）		3（※2）				
小計		60	22	小計	64	22
合計		82		合計	86	

（※1）「給食運営実習（校外）」は必修科目とする。「給食の運営」にかかる校外実習（1単位）を含む。

（※2）4科目のうち3単位を必修とする。